

# せら夢公園自然観察園だより

## 活動報告

### ■ せら里山楽校

「茅葺屋根の竪穴式住居を完成させよう！」(3月16日)



↑3年がかりで茅葺屋根の竪穴式住居が完成！

3月16日(土)、第18回となる”せら里山楽校”を開催しました。アカガエルの卵やカスミサンショウウオ？などを観察した後、茅葺職人・沖元太一さんの指導のもと、茅葺の竪穴式住居の棟を葺きました。



↑サポーターズの長沼さん(右から2人目)と臼井さんがガイドを務めた自然観察



↑牛ガエルの雌に抱き着いたオスのヒキガエル

カスミサンショウウオの分類を調査している福山大学生命工学部准教授阪本憲司さんから、このあたりのものはカスミサンショウウオではなく、アキサンショウウオかセトウチサンショウウオのいずれかに分類されることになったと教えていただきました。現在、阪本准教授に同定していただいていますので分かり次第ご報告します。それまではカスミサンショウウオとしておきます。

棟を葺いたので竪穴式住居も一応完成したことになります(？)

自然観察では♀のウシガエルに抱き着いたヒキガエルの♂を見つけ、みんな大喜びでした。ウシガエルは特定外来生物ですから、当然のことながら給食の時間に素揚げにさせていただきました。(ヒキガエルは逃がしてやりました)



↑茅葺職人の沖元太一さん(左)と屋根の上の子ども達

沖元さんは建築家を目指して大学院にまで進学し勉強した方ですが、欧州では現代建築にも利用されている茅のすばらしさに魅せられ茅葺職人になったそうです。

現在、西日本を中心に民家や文化財となっている歴史的な建築物の茅葺を手掛け、ワークショップなどでも講師を務め茅葺の良さを伝える伝道師としての活動にも精力的に取り組まれています。

給食はしし汁と炊き込みご飯。

子どもたちは竪穴式住居の上が気に入って、給食を食べるのも屋根の上でした。

休息の後は音楽の時間です。

マルベリークラブの宗岡さんとサポーターズの中島さんの演奏に合わせて春のうたをみんなで歌いました。

時折雨が降る寒い一日となりましたが、お腹も心もまんぷくになって大満足の里山楽校になりました。



↑ランチタイムの後は音楽の時間。



↑完成した竪穴式住居に囲炉裏を持ち込んでみました。

## ■ ため池シンポジウム(3月31日)

昨年の西日本豪雨で災害時の危険性が注目されるようになったため池をテーマにシンポジウムを開催しました。

シンポの参加者は世羅町13名、町外35、県外8名。そのほか、登壇者、スタッフ、マスコミなどを合わせて合計78名。大勢の方とため池に関する様々な情報と思い共有できたかなと思います。

シンポジウムはマスコミからも注目され、翌日の中国新聞では3面に掲載されました(右の記事)。記事に出てくる農事組合法人の代表者は世羅町黒川の重津征二さん、県職員は農林水産局農業基盤課課長・高田善雄さん、自然保護に取り組む住民グループはサポーターズのメンバーでもある橋本卓三さんです。



↑ため池の植物を説明する橋本さん

西日本豪雨で災害リスクが浮き彫りになった「ため池」の役割や課題を考えるシンポジウムが31日、広島県世羅町の甲山保健福祉センターであった。農家の高齢化で管理が難しくなる中、地域全体で管理の在り

方を考える必要性などを訴える意見が相次いだ。町内外の約70人が参加。兵庫教育大学の南楚教授は基調講演で、近年の災害で被害が相次いでいるのを受け「ため池は人工物であり、常に人が手を入れ

## ため池管理地域全体で 広島県世羅 在り方を議論



ため池の多面性や管理などについて議論したシンポジウム

なければ維持できない」と指摘した。パネル討議では、ため池の災害リスクが叫ばれるようになり、町内の農事組合法人の代表者が「管理責任がプレッシャーになっている」と切実な声を上げた。県農業基盤課の職員は防災のため、ため池を統合する方針を説明。自然保護に取り組む住民グループは「ため池は希少動植物を育む機能もあると認識を深めるべきだ」と訴えた。南楚教授は「ため池は多面的な機能があり、農家だけでなく住民たちと管理する必要がある」と述べた。シンポは、地元のせら夢公園サポーターズクラブなどが主催した。

(神下慶吾)

## 当面の行事・活動

### ■ せらの山へ行ってみよう 4月21日(日)

主催 NPO法人広島せらマルベリークラブ、せら夢公園サポーターズクラブ

期日: 2019年4月21日(日) 9:00~15:00

場所: 世羅町安田417(マルベリークラブ倉庫周辺)

定員: 先着60名(小学校3年生まで保護者同伴)

参加費: 小学生500円, 中学生以上1,000円

服装 野外活動のできる服装(長袖, 長ズボン, 帽子, 手袋)

持参物: 食器(マイカップ, マイ箸, タオル, 水筒など)

申込 世羅町町民課環境整備係

Tel0847-22-4513 fax0847-22-2768

当日連絡先 貞末 携帯090-2805-0251

### ■ 里山セミナー 4月28日(日)

期日: 4月28日(日) 10:00~12:00

場所: せら夢公園

指導: 下見若行さん(三原野鳥の会)

時間: 巣箱づくり 10:00~12:00

参加費: 巣箱を持ち帰る方 材料費実費(約1,000円)

体験だけの方

サポーターズ会員無料(年会費1,000円)

非会員200円

申込先: せら夢公園 Tel0847-25-4400 期日: 3月

### ■ ヒョウモンモドキ生息地整備 4月29日(日)

時間: 9:00~15:00(午前だけ可)

場所: 三原市大和町 内容: 草刈りなど(道具不要)

申込: せら夢公園にお問い合わせください。